

大学教育研究開発センター
2006 年度第 2 回 F D シンポジウム
教育改善のダイナミクス

【講演者プロフィール】

Dr. Peter Seldin

1979 年よりニューヨーク州ペイス大学教授。教育改善の評価・開発を専門とする。米国をはじめ世界 45 カ国、350 以上の高等教育機関において授業評価やティーチングポートフォリオなどに関するコンサルティング活動を行っている。社会活動も活発に行っており、米国教育審議会、米国高等教育協会、AACSB が主催する各プログラムのリーダーを兼任する。

主な著書には、以下があげられる。

Evaluating Faculty Performance (2006, with associates), *The Teaching Portfolio (3rd ed.)* (2004), *The Administrative Portfolio* (2002, with Mary Lou Higgerson), *Changing Practices in Evaluating Teaching* (1999), *The Teaching Portfolio (2nd ed.)* (1997), *Improving College Teaching* (1995, with associates), *Successful Use of Teaching Portfolios* (1993, with associates), *The Teaching Portfolio* (1991), *How Administrators Can Improve Teaching* (1990, with associates), *Evaluating and Developing Administrative Performance* (1988), *Coping with Faculty Stress* (1987, with associates), *Changing Practices in Faculty Evaluation* (1984), *Successful Faculty Evaluation Programs* (1980), *Teaching Professors to Teach* (1977), and *How Colleges Evaluate Professors* (1975)

このほか、教育専門職、学生の評価、教育実践、大学の文化等をテーマに多数の論文がニューヨーク・タイムス、*The Chronicle of Higher Education*、*Change Magazine* などに掲載されている。近年の栄誉職としては、世界銀行によりインドネシアへの客員教授に任命されたこと、ロンドン College of Preceptors の特別研究員に選出されたことなどがあげられる。後者は、「国際的な水準で高等教育の分野で際立った貢献」があった人物に授与されるものである。また、授業研究分野での功績により、ペンシルバニアの Keystone College とサウスカロライナの Columbia College より名誉学位を授与されている。

Dr. J. Elizabeth Miller

Northern Illinois 大学 Child and Family Studies の準教授。Teaching Assistant and Training Development Office の責任者を長年にわたり兼任し、教員養成プログラムを設立運営、800 名を超えるティーチング・アシスタントを養成してきた。授業と学生指導の分野で顕著な貢献があった人物に授与される、*Excellence in Undergraduate Teaching* の他同分野で複数の賞を受賞している。また、米国高等教育協会の女性幹部会議議長を務めるとともに、National Council of Family Relations の委員を兼任している。Miller 氏はこれらの功績が認められ、1992-1993 *Who's Who in American Education*, 1992-1993 *Who's Who Among Young American Professionals*, 1991-1992 *Who's Who in American Women*, 1992-1993 *Who's Who of Emerging Leaders in America* などで紹介されている。また昨年は、*Who's Who* の、経営者・専門職部門に掲載された。研究の焦点は、男女平等の教授法と学習者主体型授業の間の相互作用。家族理論、高等教育における仕事と家族、宗教と家族、大学院生の指導に関する著作がある。